



理事長挨拶

20年度がスタートし早2ヶ月が過ぎ、ゴールデンウィークも終わり、さわやかな新緑の季節から梅雨入りをむかえようとしています。6月の声を聞くと1年の半分が終わるのだという実感、月日のたつのをとても早く感じているこの頃です。

そういう中、最近では石油の高騰によるガソリン、公共料金等、そして私達が日々口にする多くの食品が、次々に値上げをするという大変暮らしにくい今日。又、障害者福祉だけでなく、さまざまな制度や施策も大きく転換されています。私達育成会も状況を踏まえながら気をひき締めて活動していかなければと思っています。

育成会の20年度の活動予定を下記のように計画いたしました。みなさまの益々のご理解、ご支援、ご協力をあわせて宜しくお願い申し上げます。



平成20年度 年間行事予定

5月26日	総 会
6月中旬	会員報告会 麺類販売(素麺、冷麦)
7月上旬	研修会
8月	施設見学
9月28日	伊勢原市障がい者スポーツ大会
10月	道灌祭りバザー、ふれあい福祉まつり 麺類販売(うどん、そば、ちゃんぽん、皿うどん)
11月	みかん狩り、ボランティアフェスタ参加
12月	レクリエーション(東京ディズニーランド)
1月	新年の集いと成人を祝う会
2月	映画会(協賛)



※詳しい日程等については、広報「みらい」にて随時お知らせいたしますので、是非ご覧ください。

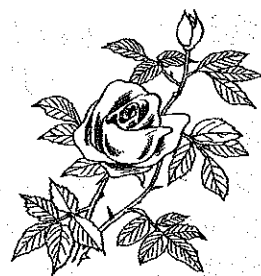
育成会 会員活動

「手をつなぐ」本の紹介

全日本手をつなぐ育成会が毎月発行している、とても役にたつ福祉情報満載の元気のでる情報・交流誌です。どなたにも読みやすく、医療、教育、福祉、就労などの特集がわかりやすく書かれています。年間3,600円のところ会員に限り、年間1,200円で購入できます。購入ご希望の方は申し込みをお願い致します。

申し込み・問い合わせ先

事務所 Tel 92-6125 又は 小野93-4698まで



** 活動日のお知らせ **

下記月曜日は活動です。事務所で10時～15時までのあいだでウエス作りなどを行っています。都合のつく日、時間帯でぜひお手伝いをお願いします。

6月2日・9日・30日、7月7日・14日

また、ウエス用衣類が不足していますので、不用になった衣類(綿の混入したもの)のご提供をお願い致します。

事務所 Tel 92-6125

島原 手延べそうめん、冷麦の

販売のお知らせ

今年もそうめん、冷麦の季節となりました。育成会では、おいしいと、好評の長崎島原名産のそうめん、冷麦を販売致します。販売手数料が育成会の収益となりますので、ぜひ、ご家庭で、またご贈答品としてもご利用頂き、ご注文頂ければ……と思っております。よろしくお願い致します。

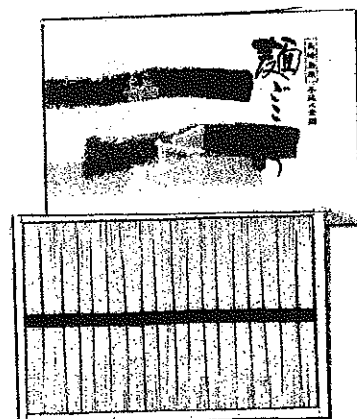
*手延べそうめん(麺ごころ=化粧箱・50g×36束)

1箱4,200円 を⇒ 2,800円 で販売

*冷麦(ひやむぎ・麦作=化粧箱・150g×10束)

1箱3,675円 を⇒ 2,500円 で販売

ご注文は、事務所(Tel、Fax92-6125)まで



伊勢原障害福祉相談室について(ドリームより)

障害のある人が普通に暮らせる地域作りをめざし平成18年10月にシティプラザ1階で福祉相談がスタートしました。平成19年度からは伊勢原市手をつなぐ育成会も相談支援事業者として市委託を受け、相談対応しています。この1年の利用者は9割近くが精神障害の方で、知的障害関係者は非常に少ない状況です。理由は周知の不徹底もありますが、相談室の性格がはつきりしないことでしょうか。利用されている方は、仕事のこと、会社のこと、家族関係のことなど様々な相談にこられます。また、ショートステイやホームヘルプサービスの利用など福祉サービスの利用の仕方についての相談も多くあります。相談室では利用者の現状状況を把握し、関係機関と連携し利用者が地域で自立した暮らしができるようサポートします。

伊勢原市障害福祉相談室

しょうがいふくし かんするごそうだんをおうけします
障害福祉に関するご相談をお受けします
しょうがい おもちの方、ご家族、関係者の方
～障害をお持ちの方、ご家族、関係者の方
どなたでも、お気軽にご利用ください～

しょうごんひ かよう もくよう とうよう
相談日：火曜 木曜 土曜

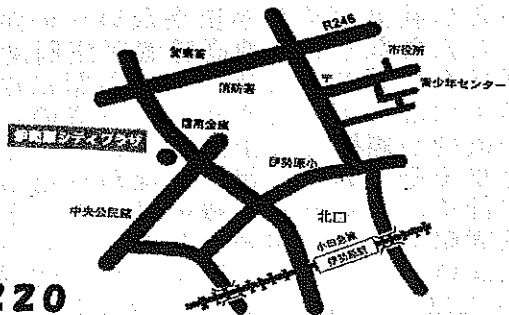
じ かん
時間：AM10:00～PM5:00

ばしょ いせはらしていぷらざ 1かい
場所：伊勢原シティプラザ 1階

しょうごんしつちやくつう)
<相談室直通>

TEL 0463-97-2220

こんな時ご相談ください。 FAX 0463-92-3085



- ・障害のことを誰に相談すればいいかわからない。
- ・障害があり将来について悩んでいる。
- ・発達障害について教えてほしい。
- ・障害福祉サービスについてききたい。
- ・市の福祉課窓口では相談しづらい
- ・日中活動の紹介や変更について
- ・障害者手帳を取得したい
- ・障害年金について知りたい。
- ・障害者施設に入所したい。
- ・学校卒業後の進路紹介してほしい。
- ・送迎サービスの有無。

☆他に神奈川県障害福祉相談員として、湯浅貞子(Tel93-1060)長田洋子(Tel94-2691)

佐藤キヨ子(090-5513-0431)が知的障害の相談窓口担当をしております。こちらもご利用ください。



事務局だより



【お知らせ】

会員の皆様には今年度も継続という形で、会費の払い込みをお願い致します。会員報告会(6月中旬)の時にご持参下さるか、事務局又は各理事までご連絡下さい。また、会員の変更や住所・連絡先の変更などがある方は、変更届の用紙がありますので長谷川(93-1456)までお知らせ下さるよう、よろしくお願い致します。

【活動報告】

- 3. 27 障害者自立支援協議会委員会 [市役所] 13:00~(大杉)
中央公民館自動販売機の話し合い [中央公民館] 15:30~(大杉)
- 3. 28 おきな草まつり準備
- 3. 29 おきな草まつり出店
- 3. 31 ショップの椅子カバー張り替え 10:00~(大杉、中島、長谷川、前場、竹内、加地、中島ア、菊池)
- 4. 1 市役所新年度挨拶回り(大杉、飯島、豊田)
- 4. 2 さくらの家福祉農園入所式出席 10:00~(大杉)
- 4. 7 伊勢原養護学校入学式出席 9:50~(大杉)
- 4. 9 正副理事会 13:30~(大杉、佐藤、中島、長谷川、飯島)
- 4. 17 おきな草まつり反省会 [体育館2F会議室]14:00~(大杉)
- 4. 28 編集会議 10:30~(大杉、佐藤、長谷川、飯島、中野、渡辺、小野)
- 5. 8 税理士による19年度収支決算報告(大杉、中島、飯島、長谷川、前場、ドリーム職員)
- 5. 9 19年度収支決算監査(大杉、原、竹内、ドリーム職員、中島、飯島、長谷川、前場)
障害程度区分2次判定審査会 [市役所] 19:00~(大杉)
- 5. 10 緑花まつり出店
- 5. 11 身体障害者福祉協会総会出席 10:00~(大杉)
- 5. 19 理事会 10:00~



後期高齢者医療制度に想う！

美しき5月、木々の緑、色とりどりの花々、吹く風もさわやかです。でも心からさわやかになれません。この1ヶ月で、札幌、京都、大阪などで病気や生活を苦に或いは介護疲れて、夫婦親子間での無理心中が8件もありました。本当に痛ましいことで、このような事が起こらない社会づくりが出来ないものかと強く感じています。

こんななか、後期高齢者医療制度が4月1日始まりました。名称、説明不足、保険証未着、徴収金の誤りなど事務的にも話になりませんが、制度の本質が世界的に例を見ないひどいものではないでしょうか。厚労省のこの制度の準備担当者は「もともと今回の医療制度改革は医療費が際限なく上がり続ける、その痛みを後期高齢者自ら自分の感覚で感じ取って頂く、今までそういう仕組みがなかったもので、なかなか痛みを感じ取れなくてひと月に25日病院に行く、やはり医療費の高いところには高い保険料を支払って貰う」と言っています。中には病院に行くのが好きな老人もいるでしょうが、老人になれば病気になりがちなのが自然ではないでしょうか。野中広務(82歳、元自民党幹事長)は、「私は2年前から怒っている。75歳以上の方々は戦後社会をここまでもって来た人たちばかりだ。こういう人たちが標的にされるのは銭勘定だけでやる誤った行為です。年金だけで生活している人から保険料を天引できする、人間の尊厳を傷つけている。更にアメリカから政策要望があったらしい。」と言っています。老人は「老後にそれなりの夢もあった。それなのに制度が変わるたびに安心がどんどん減っていく。」などと怒り、悲鳴が多数聞こえてきます。経済的に豊かな老人からの負担はいいでしょう、年金だけで生活している老人にはもっと配慮が必要です。税金の無駄遣いは次から次に出てきます。税金の使い方、政策の優先順位を国民の目線に立って考えてほしいものです。

不老不死、不老長寿は人間の自然の願いですし、古来長寿を祝う習わしもあります。人間の四大苦勞は「生・老・病・死」だと言われています。年を重ねればその四大苦勞と共に生きていくのが一般的でしょう。少しでもその苦勞を和らげ安心した老後へというのが成熟社会の在り方ではないでしょうか。

西和賀町という岩手県の小さな自治体(人口7,200、65歳以上人口2,890)では、町独自で老人医療給付制度を定め、65歳以上の人は1ヶ月外来1,500円、入院5,000円の自己負担でそれ以上の医療費は町の予算(年間約5,000万円)で負担しています。今回の後期高齢者医療制度が実施されても従来通り何ら変わらないそうです。町民全体の姿勢として生命の尊厳が共通の理念で、何よりも若者達に自分らを育ててくれた老人を大切にという精神が息づいているそうです。この町を舞台にした記録映画『いのちの作法-「生命行政」を継ぐ若者たち』(1時間41分)が1月に製作され、「生命尊重」の理念を背景に、子ども、老人或いは障害者と若者の交流等を描き、命が粗末に扱われている時代に「命の作法」を伝えていくことを発表できる場所だった。」と語っています。とにかく社会的弱者に目を向けることは政治の大きな役割です。民意が反映されない政治は政治といえるのでしょうか。「みらい」のため一国民としてねばり強くあきらめず、しっかり見つめ考え思い続けることしかないと思っております。このことも大切に考えます。(敬称略、2008.5.4記、事務局長 飯島 哲郎)